

町報

おぶせ

OBUSE TOWN
PUBLIC RELATIONS
MAGAZINE

Monthly
January
No.1049

1

2021



Cover

どんど焼き (皇大神社・松村育成会)

コロナを乗り越え、新しい時代へ

小布施町長 市村良三

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さんにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も町政にご助力を賜りますとともに、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

昨年は、令和元年東日本台風（台風19号）災害の傷も癒えぬままに、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年となりました。当町でも、感染拡大の影響は住民生活や町の産業・医療福祉など広範囲に及んでいます。

各自治会でのお祭りや会合は中止や規模の縮小を余儀なくされ、町民運動会は一昨年に続き2年連続で中止となるなど、本来は人と人が交流し、信頼関係を構築する場として機能してきた各種行事の多くが実施できない状況となりました。

9月から10月にかけての秋の観光シーズン本番には、例年に近い形で多くのお客様をお迎えすることができましたが、11月中旬以降には再び全国的な感染拡大が起り、今後の情勢も不透明な状況にあります。製造業や建設業などの

業種でも、企業の業績悪化や消費の落ち込み、部品供給の停滞などにより、さまざまな影響を受けていると聞いております。

このような厳しい状況の中ではありますが、町のなか眺めるところと、さまざまなもので未来への明るい兆しが見えつつあることを感じています。

一昨年の台風により大きな被害を受けた農業については、千曲川堤外地における農地復旧事業をはじめ、昨年中にほとんどの災害復旧事業を完了し、復興に向けた農家の皆さんの尽力により、収穫の秋には大変な豊作を迎えることができました。

町の歳入増に欠かせない「ふるさと納税」についても、好調な農業生産と全国で小布施を応援している方とのつながりの強さを反映するように、昨年同時期比以上のご寄付をいたしました。

このふるさと納税の多くはE-C（電子商取引）サイトなどのオンラインサービスを通じた寄付となっており、ICT（情報通信技術）の有効活用が、町に大きな可能性を開いてくれることを感じて

いるところです。

防災面では、台風災害の経験を教訓に、水害ハザードマップの更新に加え、防災訓練のあり方や水害時の避難所の指定を見直すとともに、住民ひとりおひとりが災害時の避難方法をあらかじめ検討し作成する「わが家の避難計画」の普及啓発活動に力を入れてまいりました。コロナ禍にあっても、真に災害に強いまちづくりに向けて新しい取り組みをスタートすることはできたのは、大きな収穫だったと考えています。

防災対策の推進に加え、昨年8月には、災害発生の根本原因の一つといわれる地球温暖化対策の一歩として、長野県の自治体としては3番目となる「世界首長誓約」への署名を行いました。低炭素社会の実現や廃棄物の削減・再利用の促進などに向けて、専門家と連携しながら各種調査に取り組んでいます。今年度から計画期間がスタートした第六次総合計画を踏まえながら、災害に強く、環境にやさしい環境防災先進都市を目指し、今年はより具体的な検討に取り組んでまいる所存です。

新型コロナウイルス対策の一環として、総額2億1千500万円規模で販売したプレミアム商品券や、コロナ禍で新たにテイクアウトやデリバリーを始めた飲食店等を応援する補助事業の実施を通じて、町民の皆さんや事業者の皆さんからは「町内にある飲食店の魅力を再発見する機会になった」「これまでとは違う客層の方々に来ていただけたようになった」「新しい販売方法の可能性を実感することができた」など、数多くのうれしいお声を頂戴しております。他の市町村からのお客様を大切にお迎えすることに加えて、地域に住むおひとりおひとりが、地域の事業者への応援の意思をもって消費行動を行う「地域内経済循環」の高まりが、今後の地域経済の活性化の大きな力になることを実感しています。

これらの未来に向けた良い兆しを適切に捉えながら、新たな取り組みをつけしていくことが、アフターコロナの小布施のまちづくりの礎になると確信しているところです。

さて、私事ではございますが、本年1月21日をもちまして小布施町長を退任いたします。町民の皆様におかれましては、4期16年の長きにわたり、多大なるご支援をいただきましたことを心より御礼申し上げます。新町長のもとではじまる新たな小布施のまちづくりにご期待とご支援を賜りますようお願い申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



て、町民の皆さんや事業者の皆さんからは「町内にある飲食店の魅力を再発見する機会になった」「これまでとは違う客層の方々に来ていただけたようになった」「新しい販売方法の可能性を実感することができた」など、数多くのうれしいお声を頂戴しております。他の市町村からのお客様を大切にお迎えすることに加えて、地域に住むおひとりおひとりが、地域の事業者への応援の意思をもって消費行動を行う「地域内経済循環」の高まりが、今後の地域経済の活性化の大きな力になることを実感しています。

この未来に向けた良い兆しを適切に捉えながら、新たな取り組みをつけていくことが、アフターコロナの小布施のまちづくりの礎になると確信しているところです。

さて、私事ではございますが、本年1月21日をもちまして小布施町長を退任いたします。町民の皆様におかれましては、4期16年の長きにわたり、多大なるご支援をいただきましたことを心より御礼申し上げます。新町長のもとではじまる新たな小布施のまちづくりにご期待とご支援を賜りますようお願い申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

祝 成人おめでとうございます

今年は127人の皆さんのが成人を迎えるました。

1月10日に成人式を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来年に延期となりました。直接お祝いすることはできなくなりましたが、これからこの町の未来を創っていく皆さんを、小布施町はいつまでも応援しています。

エイチラボ HLAB OBUSE

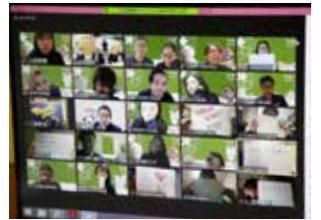
ウインタースクールがオンラインで開催されました



開閉会式には市村町長、中島教育長、関町議会議長が出席。
(写真は開会式)



同時開催していた「HLAB徳島」の高校生と交流。距離を越えての交流はオンラインならでは。



閉会式では高校生たちのサプライズ企画で、大学生たちに感謝のメッセージが贈られました。

実行委員長 及部愛実さん(東京大学3年)

新型コロナウイルスの影響で夏の開催を延期し、冬の開催に向けて準備を進めてきました。感染拡大が収まらず、オンラインでの開催を決めたのが11月でした。町の人のお宅へのホームステイなど、小布施ならではの町民の皆さんと関わる企画がない中で、どのように小布施町と関わりを持つことができるのかを考えました。小布施町は寛容で、一緒に何かをやってくれる町。これからも町の人たちと一緒に小布施の魅力を作っていくたいと思っています。

運営委員

中村陽奈子さん
(青山学院大学2年)

・小布施町清水出身

実際に集まることはできなくても小布施を知つてもらい、小布施のことを主体的に考え、関わってもらいたいと思いプログラムを考えました。高校生たちとのコ

ミュニケーションにおいてもリアルな場所を共有できない分、できるだけ自分の意見を自ら発信してもらえる仕組みを考えました。高校生たちが徐々に自分の話してくれるようになり、何でも話せる安心感と一緒に作ることができました。オンラインでもひとりひとりとしっかり向き合うことができました。私自身も高校生たちに気づかされる場面もあり、一緒に成長できたと思います。



海外大学生 Justin Lixieさん

(アメリカ・オーバリン大学)

小布施町はホームステイを受け入れてくれ、人にやさしいことを知っています。小布施でみんなに会いたかったのですが、オンラインで会うことができて良かったです。自宅からのオンラインだとプログラムによって参加しないこともできるので心配な面がありました。でも高校生たちは全てのプログラムに参加してくれました。みんなと仲良くなれてよかったです、みんなの成長にびっくりしました。

参加高校生から ~4日間の旅を終えて~

伊藤みのりさん(松の実・須坂高校1年)

自分の好きなこと、やりたいことを見つけたいと思い参加しました。参加するまではわくわくしていたけど、始まってみると「みんなレベルが高い」と気後れてしまいました。でも「自分の価値観を認めれば大丈夫」と受け入れてくれたのがうれしかったです。何かを始める時、「何のために?」と考えてしまっていたけど「わくわくするから、やりたいから」でも良いんだと思えました。自分の考えが変わる瞬間がいくつもありました。

笹澤夏希さん(林・市立長野高校3年)

コミュニケーションのあり方を学び、自分の意見を主張しつつ相手も尊重できるバランスのとれた人間になりたいと思い参加しました。一昨年の夏に参加し、今回で2回目なので「成長しなきゃ」というプレッシャーがありました。でも、みんな温かく迎えてくれてプレッシャーなんて感じなくてよかったです。いろいろなことにチャレンジできた4日間でした。大学生になったら運営委員としてHLABに関わっていきたいです。



丸山理子さん(左・雁田)

現在は短大を行っていますが、4月から東京の大学に編入します。英語を勉強して、海外の方と接する仕事をするのが目標です。今この状況に負けないで、来年の成人式では笑顔で会いましょう！

元田彩葉さん(右・福原)

大学では幼児教育を学んでいます。小布施の子どもたちが好きなので、将来は小布施に戻って教育に携わりたい。成人式は延期になりましたが、その分来年盛り上がりましょう！



今井克海さん(中央)

高校で研修を受けた縁で、機械メーカーに就職し、今は資格取得を頑張っています。コロナが収束したら金沢に行って高校の友達と遊びたい。来年の成人式ではマスクを外して笑顔でみんなに会いたいです！

村田悠菜	藤木純汰	松島菜央	田中宥士	塚田菜月	木ノ内裕二	押鐘凜平	涌井瑞樹	湯本恵大	中山瑞希	滝澤由唯	神田拓登	金田幸	小沢晃平	池田結美	丸山優星	原田優衣	唐沢海翔	原愛鈴	中條弘之	中込宇彦	鈴木莉乃	遠藤結衣	岩井鈴華	伊東真汐	畔上明花季	東町
------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	-------	----

渡邊雄斗	富澤歩未	山本大洋	栗力丘	鈴木乃愛	久保田雄大	三原早智	神田優太	富崎郁巳	元田彩葉	清水彩乃	福原坂上	中村歩	佐藤生実	横澤中扇	藤澤光	今井克海	荻原颯希	中央	田中俊輔	渡辺優佳	渡邊彩愛	池田早季	峰村夏実	池田歩華	中町
------	------	------	-----	------	-------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	-----	------	------	----	------	------	------	------	------	------	----

小田切豪太	市川竣介	六川	関直哉	田中邑佳	羽場	小林英資	赤井出門	芋川諒	押羽	陸川悠馬	北岡	小林そら	山岸祥大	山寄翔太	林	島田太太	中沢芹菜	飯田	小林純太	渡邊愛花	福沢綾人	伊藤恭輔	荒井大輝	寺島大空	大島
-------	------	----	-----	------	----	------	------	-----	----	------	----	------	------	------	---	------	------	----	------	------	------	------	------	------	----

林みづは	丸山理子	中村友理佳	吳羽真緒	神田唯斗	番場真夏	酒井春樹	福田優人	佐竹改斗	春原綾乃	須山遙香	清水	関花恵	関航汰	矢島	松本光司	久保田万葉	中子塚	黒岩拓斗	草間稜介	倉科竜雅	小林佳穂	川上莉旺	寺島いぶき	水
------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	----	-----	-----	----	------	-------	-----	------	------	------	------	------	-------	---

関怜佳	旧松川	千両	寺島咲月	下田彩奈	久保大輝	青木翔太	山川尚純	有川琴音	山房彩華	堀修汰	松の実												
-----	-----	----	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

新成人の皆さん(敬称略、希望者のみ掲載、順不同)

地域おこし協力隊通信 No.9

小布施バーチャル町民会議を開催します

こんにちは、地域おこし協力隊の日高健です。今回は、地域おこし協力隊と総合政策推進室で企画している「小布施バーチャル町民会議」についてご紹介します。昨年1月に赴任してから1年が経ちますが、たくさんの方々に支えていただき、非常に充実した日々を送っています。外から来る者を温かく受け入れる懐の深さは、葛飾北斎を迎えた江戸時代から、HLABや小布施若者会議を開催する現代まで続く、小布施の大きな魅力だと感じます。そんななか、新型コロナウイルス感染症の影響で、小布施を訪れる人も少なくなってしまいました。町外から小布施に関わる人の流れを絶やさないためにできることはないかと考え、企画に至ったのが「小布施バーチャル町民会議」です。2月から3月にかけて開催するこのプログラムでは、参加者がオンラインで集い、「関係人口」「観光」「教育」という3つのテーマで町のこれからを構想します。小布施に来ることが難しくても、オンラインで小布施とつながり、新たな交流が生まれる。そんなきっかけとなることを願っています。「小布施バーチャル町民会議」の活動内容については、今後ホームページなどで発信していく予定です。ぜひ今後の動きに注目していただければ幸いです。

地域おこし協力隊 日高 健



バーチャル町民会議のホーム
ページはこちらから

トピックス

子ども教室 餅つき・子ども能

11月22日に開催した小布施能では、新型コロナ感染対策のため、子どもたちの出演を見合わせ、12月29日に子どもと親御さんだけで別途子ども能として開催しました。当日は午前10時から地域の皆さんにご協力いただき餅つきを行った後、11時30分から子ども能を開催。演目は当初小布施能で予定していた「鶴亀」を披露しました。



力いっぱいお餅をついて腕が疲れたけど、餅つきも能も楽しかったです 中島大誠くん



「子ども能鶴亀」を小布施町ビデオリポーターに撮影していただきました。
動画は、小布施町公式YouTubeチャンネルからご視聴いただけます。



「オブミッション」に遊びに来てね！

小布施町地域おこし協力隊員が主催する「ゆるく楽しいつながりづくり」の場、オブミッション。小学生を対象として月に2回、ミッションをもとに、遊びながら創造力や思考力を鍛えるコミュニティです。12月11日は、「救おう！いのち。」をテーマに、ぼうさいミッションゲームを行いました。AEDの使い方、消火の方法、担架の作り方などをゲームを通して学びました。

参加した子どもたちは、子どもたち同士でどんなアイテムをどのように使うのかを考え、ミッションクリアを目指していました。「防災」はどうしても堅苦しく、難しいものとなってしまいます。だからこそ、楽しみながら考える「オブミッション」で得た知識を、万が一の時に生かしていただきたいです。

さて、今年から「オブミッション」はリニューアルします。毎回出されるミッションをもとに、遊びながら創造力や思考力を鍛える場から、だれでも気軽に来ることができ、宿題をしたり遊んだり、より自由に安心してゆっくり過ごせる空間とし、毎週金曜日に開催していきます。

地域おこし協力隊 須磨 航、佐々木 愛、遠山宏樹



オブミッションに
来てくれた子どもたちと



「力を発揮する発表の場は子どもに特に必要」と佐野さんは話します

力いっぱいお餅をついて腕が疲れたけど、餅つきも能も楽しかったです 中島大誠くん



「子ども能鶴亀」を小布施町ビデオリポーターに撮影していただきました。
動画は、小布施町公式YouTubeチャンネルからご視聴いただけます。



（おぶせ高校生編集室） OBUSE STUDENTS EDITORIAL

noteも更新中！メンバーそれぞれの想いを掲載しています。ぜひご覧ください！



今回お話を伺ったのは、小布施町を拠点とした災害ボランティアや、地元の福井県で福祉の活動を行っている須磨 航さん。

須磨さんは昨年4月から、防災担当の地域おこし協力隊として活動を始めている。

防災ボランティアとしての摸索

防災の分野に足を踏み入れるようになったきっかけは、大学2年生の時に発生した九州北部豪雨だった。当時、九州にいた須磨さんは大学の友人とともにボランティア活動に参加した。また、2016年に起きた熊本地震の被災者の方と話す活動のなかで、「怖かった」という思いには寄り添うことができた。一方で、発災直後の活動には参加できなかったため、災害発生時の状況まで理解することはできず、ボランティアとして継続的に関わっていく必要性を感じたそうだ。

現在、須磨さんが重点を置いているのは学生に対する防災教育だ。そのことに関して「大人になってからではなく、学生や若い人たちに防災の



須磨 航さん。
笑いを交えながら
話してくれ、楽しい
雰囲気の中でイン
タビューできまし
た。



レイアウト・池田亜加理



文責・村田紘基

ことを伝え、考えてもらうことが重要だと考えています」と話してくれた。

学生に寄り添った支援の充実へ

一方で、須磨さんは、学生の困りごとをさまざまな制度と結びつけ、具体的に解決する方法を考えるスクールソーシャルワーカーとしても活動している。加えて現在は、公式LINEを使って学生の悩みに応えている。顔が見えないLINE上でのやり取りについて、須磨さんは次のように語った。「最後は『またね』『いつでもLINEしてね』と言って、その日のやりとりを終えます。ただ、近くにいる子も遠くにいる子も支援できる仕組みをこれから作っていかなければならないと考えています」。

今回のインタビューで1番印象に残った言葉は「若い人に防災のことを考えてもらうことが重要だ」というものだった。若い人は物事を柔軟に受け入れやすく、また飲み込みも早く、それが結果的に地域を救うことにもつながる。この話から、私たちも若いから防災を始めとした地域活動に関わっていくことや、そしてその姿勢を次の世代に伝えていくことが大事なのと思った。

情(こころ)声に発す

お肴謡プロジェクト主宰・宝生流 能楽師 シテ方 佐野登さん

き物とは何か」と学んできました。その教えを引継ぎ、どこでも通用する人物を育てることで、将来町を率いるリーダーがこの町の子どもたちから生まれると信じています。



佐野登さん



出演者全員で記念撮影

まちとしょ テラソ information

インターネットサービス／ユーザー登録について

小布施町立図書館蔵書検索システムからインターネットでWEB予約が可能です。

インターネット予約にはユーザー登録が必要です。利用者カードを持参の上、カウンターでお問い合わせください。ユーザー登録は、利用者カード所持者ならどなたでも登録できます。

WEB予約の手順の詳細は、下記アドレスから「Web予約の利用について」をご参照いただくか、小布施町立図書館ホームページから「まちとしょテラソについて」→「館外貸出・予約・返却」→「インターネットサービス・ユーザー登録について」→「Web予約の利用について」へおすすめください。

<https://www.town.obuse.nagano.jp/lib/docs/8892.html>



☎ 026-247-2747 / Fax 026-247-4504
開館時間 9:00 ~ 19:00 (平日)
9:00 ~ 18:00 (土日祝日)
公式HPで最新情報をご覧いただけます

2月の休館日 ▶ 2日(火)、9日(火)、16日(火)、23日(火)
25日(木)(図書整理日)



農業委員会だより

～小布施の大地に一番近い農家の皆さんへ～



2月のテラソ百選のテーマは「嘘」です

口にうつろと書いて「嘘」ですね。よくできている漢字だと思いますか? 人間をだますために言う、事実とは異なる言葉ですが、時と場合によってはついでいい嘘もあるのが世の常。悪い事ばかりではないのかもしれません。今月はそんな「嘘」の世界へご案内いたします。



2月のおはなし会

日 時	内 容
2月 13日(土) 10:30 ~	お父さんの読み聞かせ会
2月 19日(金) 15:30 ~	低学年のためのおはなし会
2月 27日(土) 10:30 ~	おはなし会

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止になる場合がありますので、ご了承ください。

農地バンクをご利用ください

農業委員会とJAでは、農地の荒廃を防ぎ、担い手の農家による有効利用を促進するため、売買・貸借等を希望する小布施町、須坂市、高山村の農地情報を提供しています。「売りたい」「貸したい」農地と「買いたい」「借りたい」農家さんを登録し、紹介して結び付けていますので、お気軽に農業委員会事務局や地区の農業委員、農地利用最適化推進委員にお問い合わせください。随時登録を受け付けています。

いったん荒廃してしまうと、買い手・借り手が見つかりにくくなります。また、春になると作付けに間に合わないため担い手農家さんへの紹介が困難になります。「売りたい」「貸したい」農地がある人は、良好な肥培管理ができるうちに、お早めに相談されることをお勧めします。

■問い合わせ
農業委員会事務局(産業振興課農業振興係内)
☎ 026-214-9104

J Aながの(須坂農業センター)
☎ 026-245-0153



所在地	地目	作付品目	面積 (m²)
押羽字水窪	畠	リンゴ	426
都住字三田町	畠	ブドウ	991
雁田字観音下	畠	(元) リンゴ	2,749

他にも多くの登録物件があります。

○主な登録物件

所在地	地目	作付品目	面積 (m²)
中松字中条沖	畠	粟	3,137
中松字中条沖	田	水稻	2,462
都住字永久保	畠	更地	1,383

選挙運動費用の公費負担制度が始まりました

公職選挙法の一部改正に伴い「小布施町議会議員及び小布施町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」を制定しました。これにより候補者の選挙運動費用の負担を減らし、立候補や選挙運動の機会均等を図ります。一定の金額を限度として、選挙運動用自動車の費用などが公費負担となります。ただし、一定の得票数

に達しない場合は供託金が没収となり公費負担の対象外になります。

供託金没収点

【町長選挙】有効投票総数の10分の1

【町議会議員選挙】有効投票総数を議員定数で除した数の10分の1

公費負担となる選挙運動の種類と限度額(1日当たり)

一般乗用旅客自動車 運送契約(ハイヤー)	自動車借入契約 (レンタカー)	燃料供給契約	運転手の雇用契約 (1人)
64,500円	15,800円	7,560円	12,500円

※対象期間は、候補者届出日から選挙日の前日まで

選挙運動用ビラの作成の公費負担限度額と枚数

1枚当たりの限度額単価	枚数の範囲
7円51銭	町長 5,000枚 町議会議員 1,600枚

※7円51銭(単価) × 枚数 = 限度額

選挙用ポスターの作成の公費負担限度額(小布施町掲示場数31力所)

○公費負担対象枚数 31枚

○ポスター作成の単価限度額 1枚当たり 3,313円

○供託金の導入

公職選挙法(第92条)の一部改正に伴い、町長選挙の候補者50万円の供託に加え、町村の議会議員の選挙でも15万円の供託が必要になりました。

■問い合わせ 小布施町選挙管理委員会(総務課総務係内)
☎ 026-214-9100

有料広告

「お寺でお葬式という選択」贊同寺院 各宗派123ヶ寺



あんしん
「お寺でおみおくりでは、新型
コロナウイルスの感染予防を
万全な対策で行っております。
マスクの使用 手の消毒を
徹底しております。
安心してお寺でおみおくりを
おこなってください。」

檀家、信徒、宗派問わず
まずはどなたでもご相談ください
お寺でおみおくり
一般社団法人日本寺葬協会 株式会社やすらぎあん
年中無休24時間対応
☎ 0120-016-598
www.oteomi.or.jp お寺でおみおくり

ご本尊様のある莊厳な本堂で
たいせつなご家族をおみおくり

費用もおさえられ
余計な出費もない「お寺葬」



自治大臣表彰受賞の記念撮影（前列中央は中村 功町長）

「どんな写真も表紙を撮るつもりで」。先輩たちの想いは、今も町の広報づくりに受け継がれています。

審査員の石井幸之助氏は、「お手の少女の顔は見えないのだが、背中からクビ筋までの線が、かえって新しくできたボーライフレンドへの喜びの表情を、より美しいイメージで描かせる効果を出したのではないだろうか。（略）」と評しています。

「巨大アマビエ図」

保健委員会が「疫病退散」「みんなに笑顔！」を願つて作成し、昇降口に掲示しました。



全国広報コンクールで特選となった「さっそく仲よしに」（昭和54年4月号町報表紙）

この全国広報コンクールの審査は、広報紙、広報写真、有線放送、広報展示物、広報映画といった5媒体8部門について行われ、都道府県の推薦を受けた233点の作品の中から、部門ごとに特選1点、入選数点が選ばれたものです。

審査員の石井幸之助氏は、「お手の少女の顔は見えないのだが、背中からクビ筋までの線が、かえって新しくできたボーライフレンドへの喜びの表情を、より美しいイメージで描かせる効果を出したのではないだろうか。（略）」と評しています。



第82回

2013（平成25）年4月に開館した小布施町文書館の収蔵品や取り組みを紹介します。

今から40年前の1980（昭和55）年に岐阜県で開催された第17回全国広報広聴研究大会の席上「町報おぶせ」が栄えある自治大臣表彰を受けました。

これは昭和54年全国広報コンクール広報写真（一枚写真・課題）の部で、昭和54年4月号の町報表紙写真「さっそく仲よしに」（撮影者・田中茂実氏）が特選となり、自治大臣表彰を受けました。

この全国広報コンクールの審査は、広報紙、広報写真、有線放送、広報展示物、広報映画といった5媒体8部門について行われ、都道府県の推薦を受けた233点の作品の中から、部門ごとに特選1点、入選数点が選ばれたものです。

トピックス

支え合いはじめの一歩 つながる小布施の「わ」

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて中学生もがんばっています



「巨大アマビエ図」

保健委員会が「疫病退散」「みんなに笑顔！」を願つて作成し、昇降口に掲示しました。

生徒の皆さんから 「平等な見方を」

医療従事者や感染してしまった人への差別や偏見があります。自分が感染してしまう可能性もあります。差別している人たちも自分が差別される側になってしまったらどう感じるのでしょうか。きっと、とてもつらい気持ちになると思います。たとえ病気になってもみんな同じ人間です。だからこそ自分と他人を区別せず、平等に考え合うことで差別はなくなると思います。「冷静な行動を」

悲しい思いをする人が出ないようにしたいです。人は恐怖を感じた時に人にいやな思いをさせてしまいます。まず立ち止まって、冷静に生活するべきだと思います。

五味 隆 教頭先生

中学校では、差別や偏見、誹謗中傷などを許さない気持ちを持つことや、誰もが感染する可能性があり、もし周りの人がかかるなら温かな気持ちで見守りたいという心を持つことを生徒に話をしているところです。みんなが大変な時こそ、お互いの気持ちを考え、支え合うことを大切にしていきたいと思います。



学校・園だより

小布施からみ大根を育てました 栗ガ丘小学校5年生



5年生では、去年の「小布施丸なす」に続き、地元野菜の「小布施からみ大根」を育てています。小布施からみ大根組合さんの協力の下、まちづくり委員会の工藤さんから、大根の育て方と社会科で学んだ「地産地消」や「フードマイレージ」を絡めた地元野菜と食に関わるお話を聞きました。授業で学習した内容を生かすことともに、地域の野菜を知る貴重な体験になりました。

工藤さんのお話を聞いて、地域のことを知ることは大切だと思いました。あと地産地消をすればトラックのガソリンなどを節約することができます。そうすれば、環境問題も克服できるのでいいと思いました。

5年生 中村智久さん

令和2年度人権同和教育推進に関する入選作品のポスターの部で優秀賞に入賞した作品を紹介します。



人権同和教育の推進に関する ポスター入選作品



栗ガ丘小学校6年
古川伊菜里さん



小布施中学校
1年1組
人権委員会
小林優真さん
関谷晴乃さん
土屋衣吹さん



小布施中学校
2年2組
人権委員会
番場奏音さん
大田悠輔さん
中村悠吾さん



小布施中学校
3年2組
人権委員会
佐藤瑞光さん
小林千桜さん
中村凌輔さん



未来へのメッセージ

明るく住みやすい地域のために 去年の千両分館長 石井 文さん

3年前の5月に小布施に転入してきました。小布施町はコンパクトで、若い人たちも関わってアイデアを出し合ながらまちづくりをしていて明るい町だと思います。

子どもが4人いるのですが、以前暮らしていた町では周りの人たちが子どもたちを気にかけ、声をかけたりしてくれました。夫は仕事が忙しくて家にいる時間が少なかったので、子どもは地域に育てていただいたと思っています。そういう経験があるから、自治会の活動に積極的になれたんだと思います。分館長を引き受ける時「私は抜けているところがあるので不安です」と言うと、自治会長さんが『それくらいがちょうどいい。みんなで支えるから』と言ってくださいり、楽し

く活動することができました。分館活動で印象に残っていることは、花壇づくりを通して区民の皆さんの温かさにふれたことです。「作業お疲れさま」「花壇いいね。きれいな花だね」など、お互いに声をかけ合う姿を見ると本当にうれしいです。これからも、明るく暮らしやすい自治会の実現に向けて活動したいと思います。また、以前暮らしていた町でやっていた、学校での子どもたちを支援するボランティア活動にも参加できればと思っています。



令和3年2月 イベントカレンダー

健福・・・千年樹の里／健康福祉センター 生駐・・・生活支援ハウス駐車場

天使・・・エンゼルランドセンター 北体・・・北部体育館

日	月	火	水	木	金	土
1/31	2/1 ◇エンゼル豆まき(Aグループ 11:00頃～天使) 18P	2 ◇エンゼル就労相談(10:00～天使) ◇エンゼル豆まき(Bグループ 11:00頃～天使) 18P	3 ◇転倒予防教室(名字あ～さ行)(13:30～健福)	4 ◇オレンジカフェくりんこ(13:30～健福) ◇特定任意講習会(18:30～須坂警察署)	5	6
7	8 ◇エンゼルほのぼのカンファレンス(10:00～天使)	9 ◇ダンスで脳元気教室(13:30～健福)	10	11	12 ◇転倒予防教室(名字た～わ行)(13:30～健福)	13
14 ◇資源物回収 (8:00～生駐)	15 ◇転倒予防教室(名字あ～さ行)(13:30～健福)	16	17 ◇須高広域シルバー人材センター入会説明会(13:30～桃源荘) ◇ウォーキング健康教室(13:30～北体)	18	19 ◇エンゼル乳幼児食作り(9:45～天使)	20 ◇無料住宅相談会(10:00～旧上高井郡役所) P20
21	22	23	24	25	26 ◇転倒予防教室(名字た～わ行)(13:30～健福)	27
28 ◇まちづくり委員会住民防災講座(10:00～健福)	3/1	2	3	4	5	6

有料広告

株式会社
見海造園

一級造園技能士・庭園アドバイザー

TEL: 247-2887

FAX: 247-5633

E-mail: obuse@niwahana.net

消毒・手入れ・工事等緊急の場合も対応します



庭の存在がライフスタイルを変える

庭木の手入れ・栗・果樹・高木の伐栽までお任せください。その他何でもご相談ください!

庭園工事 茶庭・一般住宅庭園・修景工
設計・施工・管理

エクステリア工事 門扉・フェンス・カーポート

石工事 石籠・石積み・墓石・記念碑

その他 消毒・各種門松・雪吊り・屋上緑化等



エンゼル通信



問い合わせ エンゼルランドセンター ☎026-247-2137

グループ	利用できる日にち
A	1日月、3日水、5日金、9日月、12日金、16日水、18日木、22日月、25日水
B	2日水、4日木、8日月、10日水、15日月、17日水、19日金、24日水、26日金

2月の各種相談

相談内容	日 時	相 談 員	場 所 等
人権相談	3日水 12:30～14:30 ※電話、匿名でも可	人権擁護委員	北斎ホール 相談室 ☎内線545
心配ごと相談	2水、16日水 13:00～15:00	民生児童委員	北斎ホール 事務室
行政相談	19日金 9:30～11:30	行政相談委員	北斎ホール 相談室
あったか介護相談室	15日月 13:30～15:30	介護支援専門員	健康福祉センター
乳幼児健康相談	3日水 9:30～12:00	保健師・栄養士 臨床心理士	健康福祉センター
住まいづくり相談	17日水 14:00～16:00 ※要予約	住まいづくり相談員	公民館2階 音楽室
結婚相談	毎週水・木・金 10:00～12:00 13:00～15:00	結婚専門相談員 ※2月11・23日休業	公民館結婚改善委員会室
心のサポート相談	毎週金 13:00～15:00 上記時間にお電話で面接時間をご予約ください	臨床心理士・精神保健福祉士	おぶせフラワーセンター 2階相談室 ☎026-214-6651
法律相談	18日水 14:00～16:00 ※要予約	弁護士 司法書士	北斎ホール 相談室・講習室

須坂市消防署小布施分署からのお知らせ
ヒートショックに気をつけましょう

ヒートショックとは

家の中の急激な温度差により血圧が大きく変動することで失神や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こし、体へ悪影響を及ぼすことです。

ヒートショックを防ぐには

- 防寒し外気に皮膚をさらさない
- 食事や飲食は入浴後に
- 入浴前後に水分補給
- 湯船の温度を上げ過ぎない
- 浴室やトイレの温度を上げる
- トイレでいきみすぎない
(普段の便秘対策も重要)

■問い合わせ 須坂市消防署小布施分署

☎026-247-5901

緑の管理人を募集します
問 建設水道課都市計画係
☎ 026-214-9105

公園や街路樹の管理を行う緑の管理人を募集します。

雇用期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日(更新の可能性あり)
※冬季(12月下旬～3月上旬は休業)
勤務時間 6時～15時30分(実労働時間6時間)

※季節によって勤務時間の変更あり
応募資格 普通自動車運転免許を有する人
報酬 時給890円

応募期限 2月12日(金)

申込方法 建設水道課都市計画係か町ホームページにある申込書に運転免許証の写しと履歴書を添えて提出(直接により採用を決定します)

駐車指導員を募集します
問 建設水道課都市計画係か町ホームページにある申込書に運転免許証の写しと履歴書を添えて提出(直接により採用を決定します)

駐車指導員を募集します
問 建設水道課都市計画係か町ホームページにある申込書に運転免許証の写しと履歴書を添えて提出(直接により採用を決定します)

「コロナに負けるな」運命のラブサーキュレーション「OBUSE」恋活イベントを開催します

問 小布施町社会福祉協議会
☎ 026-242-6665

交流イベントで、心ときめく時間を過ごしませんか? 参加者全員にフランク料理店(メゾン・ド・ナチュール)のティクアウト弁当をプレゼントします。

申込方法 公民館講堂
場所 30人(男性15人、女性15人)
定員 参加の条件

日時 3月13日(土)10時～12時
場所 公民館講堂
参加費 ○男性 25歳以上で、町内または近隣にお住まいの未婚の人
○女性 25歳以上で、県内外にお住まいの未婚の人

申込期限 ○(早割)千円、(通常)2千円
申込方法 ○(早割)2月12日(金)
○通常 2月26日(金)

勤務内容 ○電話かメールでお申し込みください
勤務日 ○郵送先 施町大字小布施857-15
○メールアドレス o-kokkattu@stvnet.home.ne.jp

町に訪れた人への道案内や駐車場案内を行なう駐車指導員を募集します。

勤務内容 半日(3時間)単位で駐車施設への案内や誘導、観光案内を行ないます

勤務日 春、秋の土・日曜日と祝日
で特に混雑が予想される日

謝礼 1時間千円程度
申込期限 3月1日(月)
申込方法 建設水道課都市計画係か町ホームページにある申込書を提出してください

長野広域連合特別養護老人ホーム小布施荘に於ける申込書を提出してください

「コロナに負けるな」運命のラブサーキュレーション「OBUSE」恋活イベントを開催します

交流イベントで、心ときめく時間を過ごしませんか? 参加者全員にフランク料理店(メゾン・ド・ナチュール)のティクアウト弁当をプレゼン

トします。

申込方法 公民館講堂
場所 30人(男性15人、女性15人)
定員 参加の条件

日時 3月13日(土)10時～12時
場所 公民館講堂
参加費 ○男性 25歳以上で、町内または近隣にお住まいの未婚の人
○女性 25歳以上で、県内外にお住まいの未婚の人

申込期限 ○(早割)千円、(通常)2千円
申込方法 ○(早割)2月12日(金)
○通常 2月26日(金)

勤務内容 ○電話かメールでお申し込みください
勤務日 ○郵送先 施町大字小布施857-15
○メールアドレス o-kokkattu@stvnet.home.ne.jp

町に訪れた人への道案内や駐車場案内を行なう駐車指導員を募集します。

勤務内容 半日(3時間)単位で駐車施設への案内や誘導、観光案内を行ないます

勤務日 春、秋の土・日曜日と祝日
で特に混雑が予想される日

小布施荘の介護職員(フルタイム会計年度任用職員)を募集します
問 長野広域連合会計年度任用職員に関する取扱い要領によります
応募方法 市販の履歴書に顔写真を貼り、小布施荘へ持参または郵送して下さい
応募資格 年齢不問・普通自動車運転免許(介護福祉士の資格があればなお良い)

給与 長野広域連合会計年度任用職員に関する取扱い要領によります
応募方法 市販の履歴書に顔写真を貼り、小布施荘へ持参または郵送して下さい
応募締切 採用決定になり次第締め切ります

申込方法 ○郵送先 施町大字小布施857-15
○メールアドレス o-kokkattu@stvnet.home.ne.jp

勤務内容 ○(早割)千円、(通常)2千円
勤務日 ○(早割)2月12日(金)
○通常 2月26日(金)

勤務日 ○(早割)千円、(通常)2千円
勤務日 ○(早割)2月12日(金)
○通常 2月26日(金)

勤務内容 ○(早割)千円、(通常)2千円
勤務日 ○(早割)2月12日(金)
○通常 2月26日(金)

栗菓子 竹風堂
栗あんしんこ 3袋入
[1袋120g(切り餅2枚)×3] 1,890円(税込)(レトルトパウチ入り)

栗あんだけでできた贅沢な栗を喫茶で召し上がるのとまったく同じレシピでお餅もついておいしさそのまま。

栗菓子 竹風堂

濃厚栗真味竹風堂創製

竹風堂は
国産栗は
100%の安心。
栗菓子 竹風堂
調理例

不動産が「負動産」になる前に!ご相談ください。
診断無料
お気軽にお問い合わせください!
お問い合わせ
小布施「夢の家」
0120-691-491
FAX:026-247-1102 E-mail:info@obuseyumenoya.com

小布施の不動産情報はすぐアクセス!
人気の小布施町不動産情報
が満載です!
obusefudousan.com
不動産をやりたい方は下記まで
【建設】建設業者登録番号:2912501号【宅地建物取引業】長野県知事登録番号:4329号
〒381-0202小布施町大字福原216-14
株式会社マイエム
フリーダイヤル
ム ク イ ヨ キ ュ
0120-691-491
FAX:026-247-1102 E-mail:info@obuseyumenoya.com

Health 情報

みんなの健康ひろば

風しんの抗体検査・予防接種を受けましょう

風しんの流行と先天性風しん症候群を防ぐために「抗体検査」「予防接種」を実施しています。

風しんは、発疹、発熱、首や耳の後ろのリンパ節の腫れが特徴の感染症です。大人がかかると症状が重くなることがあります。特に、妊娠初期の妊婦さんが風疹に感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目、耳、心臓に障害を引き起こすことがあります。(先天性風しん症候群)

対象 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日

生まれの男性

受診場所 ①各医療機関(実施していない医療機関もありますので直接お問い合わせください)

②健康診査と同時実施(勤務先、受診医療機関にお問い合わせください)

検査方法 抗体検査は血液を採取して検査します。

検査の結果、予防接種の対象と判定された場合に予防接種を受けてください。

持ち物 町から配布されたクーポン券、住所確認できるもの(健康保険証等)

◎これまで風しんの予防接種の機会がなく、免疫を持っていない可能性の高い昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、無料で「抗体検査」「予防接種」を受けられるクーポンを配布しています。

期間 平成31年4月1日～令和4年3

月31日まで(3年間)



子どもの健診



乳幼児の健康をチェックする健診を毎月行っています。子育ての相談もお受けしていますので、ぜひご利用ください。

会場はいずれも健康福祉センターです。

健 診	日 時	対 象
10・11カ月児健康診査	2月17日㊁ 受付 13:00～13:15	令和2年 3月～ 4月生まれ
3・4カ月児健康診査	2月24日㊁ 受付 13:00～13:15	令和2年10月～11月生まれ
子育て教室・こっこ塾 (6・7カ月児)	2月25日㊁ 受付 9:30～ 9:45	令和2年 7月～ 8月生まれ

健診結果や体調のこと、食事など健康について気になることはありませんか。保健師と栄養士に何でもご相談ください。

■健康福祉課健康係 ☎ 026-214-9107

麻しん風しん混合(MR)ワクチン予防接種を受けましょう

第1期

対象 1歳～2歳未満のお子さん

接種期間 1歳の誕生日前日～2歳の誕生日の前日まで

第2期

対象 年長児のお子さん(平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれ)

接種期間 令和3年3月31日まで

共通事項

対象の年齢を過ぎると任意接種(有料)になります。

両親学級を開催します

妊婦さんとその家族を対象に、体験を通じて出産や子育てについて学びます。

参加を希望する人は、健康福祉課健康係までお申し込みください。

開催日 2月8日㊁

時間 9:00～

内容 妊娠中の過ごし方、妊娠中の食事、歯の健康づくり、妊婦体験・沐浴体験ほか

会場 保健センター



★ series 88
Obuse
Sai
彩見

「寄っとくんない見てくんない」

広報員がお気に入りの場所を紹介します

私のお気に入りは

千両から栗ガ丘の松川土手道です

春、桜が満開。夏、両脇の雑草との闘い。地区的方の苦労を感じながら、秋、紅葉と木枯らしで枯れ木に変わっていく寂しさ。冬、景色の色が無くなり川の音が妙に大きく聞こえてくる。壮大な北信五岳が目の前に広がる。千両から入り、どこまで土手道が続いているか知りたくて川沿いを歩いてみて、このコースがとても気に入った。四季の変化を感じることができ、信号がないので自分のペースで歩くことができる。ゆったりとした時間も感じられる1.4キロのコースである。



広報員
関 明彦さん(中条)



おぶせ自然暦

four seasons in obuse vol. 106

春の妖精 カタクリの花

カタクリはユリ科の多年生植物で山地に群生しています。雁田山でも群生地が数箇所確認されています。早春の木の芽が出る前に咲くのでスプリング・エフェメラル(春の妖精)と呼ばれる植物の一つです。花が咲き、種子が地上に落ちると、アリが種子を遠くまで運びます。種子から花が咲くまでに数年かかりますが、この間に茎が地下深く伸びて地下15cm位の所に鱗茎(球根)ができます。この鱗茎から昔はカタクリ粉を取ったといいます。現在のカタクリ粉はジャガイモの澱粉です。案内人:清水照雄さん(栗ガ丘)



1、2 カタクリの花 3 群生するカタクリ 4 カタクリの実(写真2～4は清水さん提供)

第一生命保険(株)と包括連携協定



1月6日㊁に第一生命保険株式会社と、町民の健康増進や地域経済の活性化のための「包括連携協定」を締結しました。お互いが連携し、町民の

健康増進、スポーツ振興、子育て支援、産業振興、環境保全への取り組みなど、あらゆる分野で協働して町民の皆さんの福祉の向上を目指すためのものです。締結式で久留嶋 純長野支社長は「地域の課題解決の一助を担いたい。コロナ禍の中で、現在も小布施町の飲食店の皆さんのがんばりを応援しています。これから町と話し合いながら、改めて具体的な取り組みを進めていきたい」とあいさつ。市村良三町長は「健康寿命の延伸や商工業の支援などで支えていただければ心強く思います。ますますの連携によって町民の皆さんの福祉の向上につなげていきたい」と話し、協働の取り組みがスタートしました。



インターネットで新たな交流

～栗ガ丘小5年1組とヤンゴン（ミャンマー）日本人学校～

栗ガ丘小学校5年1組が、インターネットを使ってミャンマーのヤンゴン日本人学校の子どもたちと交流しています。昨年の3月まで担任だった久保田智絵美先生が4月からミャンマーの日本人学校に赴任することになり、栗ガ丘小の子どもたちの「ミャンマーのみんなとつながりたい」との希望から実現したもので、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大のため日本に留まっている久保田先生が橋渡しをしています。

12月17日には2回目となる交流会が実施され、お互いの地域の特色を知るためのクイズを出し合い交流を深めました。久保田先生は「ミャンマーの子どもたちとはまだ会えず、毎日オンラインで授業しています。日本では学校が再開し、栗ガ丘小も体育祭などは開催できましたがミャンマーはまだ再開していません。日本の子どもたちには、外国の状況を知ることで自分たちの恵まれた環境に気づいてほしい。これからも時間を見つけて子ども同士をつなげていきたい」と話します。

整備されたインターネット環境のもとで、新しい形のグローバル交流が始まっています。



タブレット端末を使ってミャンマーに動画を送信。学校活動の様子を紹介しました。



ミャンマーにしっかり届いています。
(写真はヤンゴン日本人学校のクラーク和行さん)



クイズを出し合ったのが楽しかった。（ミャンマーの寺院の写真を見て）お寺が大きくて、光っていてすごかったです。また交流したいです。

芋川琥博さん



2回目となった今回は子どもたちも積極的に対話できるようになりました、深いコミュニケーションを取ることができました。この新しい出会いから多くの刺激を受け、自分の世界を広げていってほしいです。

神田由美子先生（5年1組担任）



ミャンマーのヤンゴン日本人学校の皆さん



石田未弐さん

クイズが楽しかった。今度は私たちが作った詩を紹介したいです。

池貝采夏さん

栗ガ丘小のことを知ることができますよ。

今度は私たちのことをもっと知ってほしいです。

大久保智宏さん

ミャンマーの人はみんな明るくて、あいさつしてくれます。ミャンマーのことを知れば、行ってみたいくなると思います。

佐藤空さん

小布施はにぎやかな町だと思った。ミャンマーには大きなパゴダ（お寺）もあって、馬車もあります。遊びに来てください。

▼HLABウインタースクール、バーチャル町民会議、ミャンマーとの交流。ICTを駆使して、物理的な制約を越えた新しい形のまちづくりが生まれているのを目当たりにしました。広報のあり方も、新しい技術と手を組みながら変わっていかなくてはならないと思います。「同じ空間を共有するからこそ、心の機微に触れ合うことができる」という、これまでの良さも忘れずに。（塩野崎）

▼令和2年は様々な行事が中止になつた年でしたが、子どもたちはたくましく映画を撮り、ミャンマーと交流し、謡の発表もしてきました。高校生はインターネットでインタビューや町報に記事を書いてくれています。できないことも多くなりました。ですが、今だからこそできることも増えています。（須藤）

**小布施町
公式LINE**

小布施町の暮らしのお役立ち情報やイベント情報などをお届けする公式アカウントです。
緊急情報などもお知らせしていきます！

友だち登録はこちら